

考古学総合実習

選択 2単位

阿部 朝衛・畑 大介・榎原 功一・
高木 暢亮

1. 授業の概要(ねらい)

考古学においては、研究目的の設定後、遺跡の発掘調査および成果の公開・活用を適切に行わなければならない。具体的には、遺跡探索・踏査、地形観察・測量、発掘調査、次いで調査資料の整理・分析、検討結果の公表という過程が含まれ、これらの過程では様々な実践的知識と技術が必要となる。今年度は伊豆半島の石器材料調査と石材資源環境調査を通して、それらの調査にかかわる知識・技術を学ぶことを目標とする。

2. 授業の到達目標

1. 遺跡踏査の準備、開始から終了までの手順、法的手続きを理解し、マネジメント能力を養う。
2. 実習を通して遺物や調査地点の記録、測量器具操作方法、写真撮影方法の基礎的技能を修得する。
3. 採集した遺物・石器材料の洗浄、注記、接合、図化作業を行う。

3. 成績評価の方法および基準

夏期の石器材料調査に参加し、調査結果をまとめたレポートによって評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

文化庁文化財部記念物課監修 『発掘調査のてびき』 同成社
『考古学調査・研究ハンドブック』 1～3 雄山閣

5. 準備学修の内容

対象とする遺跡あるいは時代の研究概要を事前に把握し、調査後は結果に関する検討、整理作業を行なうほか、多様な器材の取り扱い、準備、片付け、および実習前後の研究会等に積極的に参加すること。

6. その他履修上の注意事項

実習前の説明会・準備会、および調査後の資料整理・研究会等に積極的に参加することを望む。それによって、発掘にかかわる技術だけではなく、考古学における研究・調査方法の概要を知り、法的手続きを含めた文化財マネジメントに関する知識の重要性を理解してほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 1. 遺跡周辺の踏査と石材資源環境調査
2. 採集した遺物や石材資源の種類・採集地点・採集日時の記録
3. 遺跡の範囲と石材資源分布の確認
4. 測量器具の取り扱い
5. 文化財保護法に関係する手続き

【第2回】

【第3回】

【第4回】

【第5回】

【第6回】

【第7回】

【第8回】

【第9回】

【第10回】

【第11回】

【第12回】

【第13回】

【第14回】

【第15回】